

環境経営レポート

わらべや日洋食品株式会社 (2023年度)

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



東京工場

わらべや日洋食品株式会社

作成日：2024年10月1日



認証番号0013162

目 次

項目	ページ
社長ごあいさつ	3
環境経営方針（環境経営理念・行動指針）	4
組織の概要・事業内容	5～6
環境経営組織図、役割・責任・権限表	7
主な環境負荷の実績、環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画	9～12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	13～14
これまでの環境活動の紹介	15
社会貢献活動への取組み	16
代表者による全体の評価と見直し・指示	17



社長ごあいさつ

当社は、コンビニエンスストア向けにお弁当・おにぎり・調理麺などを提供する「中食」事業を展開しています。

長年にわたる事業活動の中で、廃棄物削減や省エネルギー対策などに継続して取り組んでまいりましたが、当社の取り組みを改めて形にし、ステークホルダーの皆様との環境コミュニケーションの一貫として本レポートを作成いたしました。

環境配慮は企業活動において必然であり、地球環境の保護なくして企業や社会の存続はありません。

社会の一員としての責任を果たすため、事業活動における環境負荷低減、環境対策に今後も継続して取り組んでまいります。

代表取締役社長
棚本 実

環境経営方針

〔環境経営理念〕

私たちは、「中食」事業を通して、安全・安心、美味しさ、品質にこだわった価値ある商品づくりに努めます。

また、地球環境の大切さを十分認識し、汚染の予防に努め継続的に環境に配慮した企業活動を通して、地球の豊かな恵みの存続に貢献します。

〔環境保全への行動指針〕

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努め、食品リサイクル率の向上に努めます。
3. 創意工夫による省エネルギーを促進し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 安全で安心な商品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
6. 環境に配慮した商品の開発・製造に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

わらべや日洋食品株式会社

代表取締役社長 棚本 実

2024年4月1日

組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

事業者名 わらべや日洋食品株式会社

代表者氏名 代表取締役社長 棚本 実

(2) 所在地

本社	東京都新宿区富久町13-19
東京工場	東京都武蔵村山市榎1-1-18
村山第二工場	東京都武蔵村山市榎3-18-1
横浜工場	神奈川県横浜市都筑区川和町752
相模原工場	神奈川県相模原市中央区宮下3-9-1
デザート工場	神奈川県相模原市中央区宮下2-18-6
大宮工場	埼玉県さいたま市北区吉野町2-10-1
吉川工場	埼玉県吉川市南広島442-1
浦和工場	埼玉県さいたま市桜区桜田3-3-2
千葉工場	千葉県袖ヶ浦市永地字鎮守越1163
札幌工場	北海道札幌市白石区平和通15丁目北8-35
釧路工場	北海道白糠郡白糠町工業団地4-2-16
岩手工場	岩手県北上市相去町大松沢1-107
福島工場	福島県郡山市喜久田町字双又34-13
群馬工場	群馬県太田市大原町2394-1
茨城工場	茨城県小美玉市上玉里桜山50-137
南アルプス工場	山梨県南アルプス市上今諏訪850-4
上田工場	長野県上田市古里字松ノ木1727-16
北陸工場	石川県白山市上小川町800番地10
名古屋工場	愛知県日進市藤島町長塚74-22
滋賀工場	滋賀県野洲市野洲1679-1
堺工場	大阪府堺市東区北野田830
三木工場	兵庫県三木市志染町戸田字中尾1838番地230
香川工場	香川県坂出市沖の浜30-83

(3) エコアクション21認証・登録の対象組織、事業所、事業内容

対象組織名：わらべや日洋食品株式会社

対象事業所：本社及び全工場（上記23工場）

事業内容：調理済食品の製造、販売 (2023年度売上 ¥162,367 (百万円)
(2022年度売上 ¥155,577 (百万円))

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境推進室	責任者	伊藤 涼	TEL : 03-5363-7013
	担当者	高城 直人	
		秋山 拓也	

(5) 事業規模

	人数	述べ床面積
本社	539名	6,890㎡
東京工場	903名	15,031㎡
村山第二工場	241名	3,190㎡
横浜工場	479名	6,601㎡
相模原工場	409名	9,206㎡
デザート工場	335名	3,362㎡
大宮工場	619名	5,812㎡
吉川工場	853名	11,559㎡
浦和工場	388名	5,236㎡
千葉工場	174名	2,522㎡
札幌工場	412名	4,406㎡
釧路工場	393名	4,920㎡

	人数	述べ床面積
岩手工場	403名	10,897㎡
福島工場	208名	3,827㎡
群馬工場	414名	4,547㎡
茨城工場	333名	4,205㎡
南アルプス工場	431名	6,652㎡
上田工場	239名	4,196㎡
北陸工場	386名	7,058㎡
名古屋工場	801名	14,190㎡
堺工場	499名	5,627㎡
滋賀工場	686名	7,100㎡
三木工場	447名	8,089㎡
香川工場	468名	13,106㎡
合計	11,060名	(2024年3月末日現在)

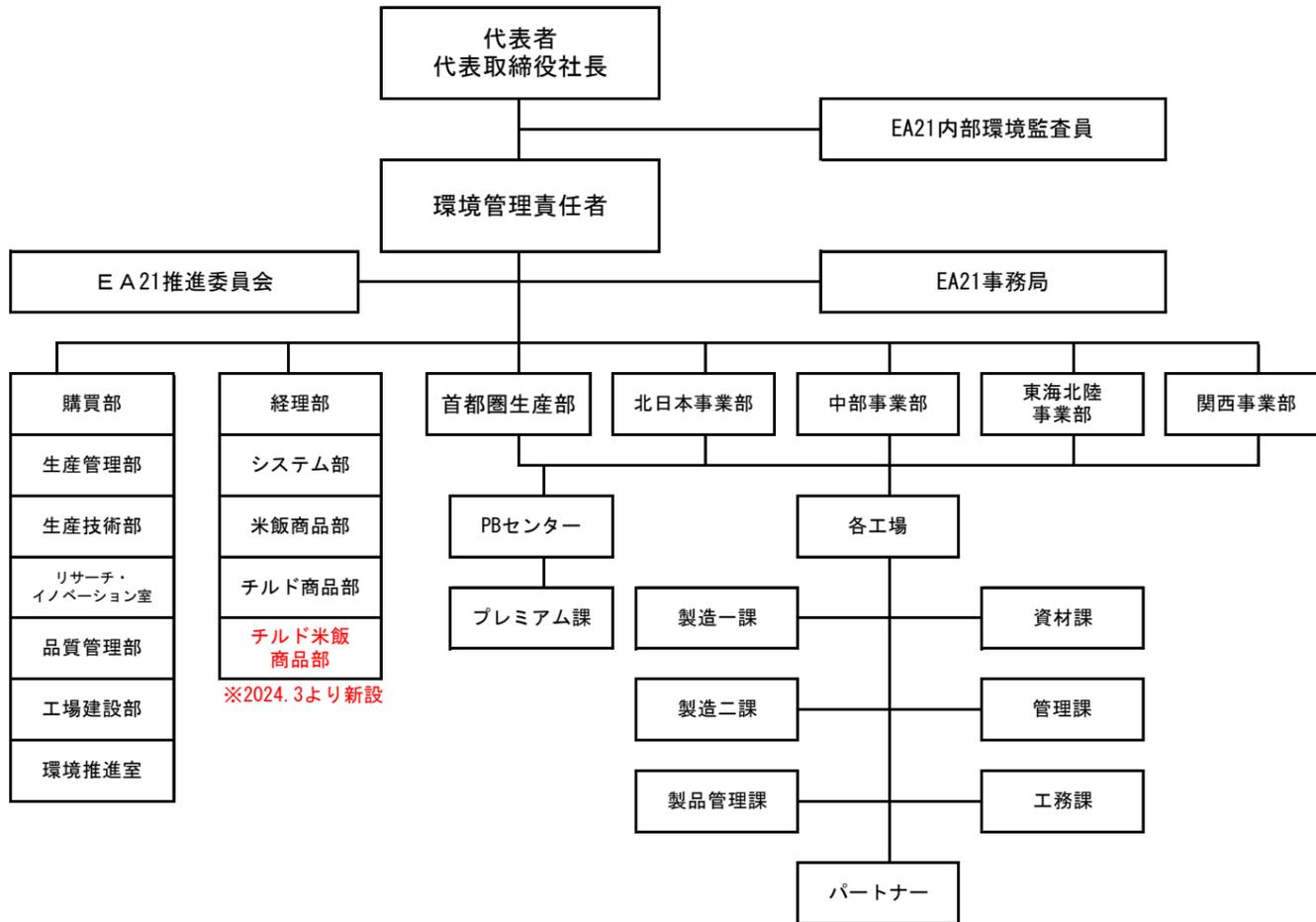
(5) 事業年度

3月 1日～ 2月 末日

(環境年度は行政の年度に合わせて4月1日～3月末日としています)



環境経営組織図



※北海道事業部・東北事業部・北関東事業部・中部事業部・東海北陸事業部・関西事業部・首都圏生産部・生産QC部（生産QC室、お客様相談室）・商品課等については、各地区の拠点地の工場所属としています。

役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価 環境経営レポートの確認
部長 ・ 工場長	<ul style="list-style-type: none"> 自部（工場）における環境経営方針の周知 自部（工場）の社員、パートナーに対する教育訓練の実施 自部（工場）に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部（工場）に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部（工場）の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部（工場）の問題点の発見、是正、予防処置の実施
E A 21内部環境監査員	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全社員・パートナー	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	年度	単位	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量		t-CO ₂	96,868	103,398
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量		t	961	1,123
産業廃棄物排出量		t	20,104	19,344
食品廃棄物				
発生量		t	11,101	12,145
発生抑制量			4,806	4,716
再生利用量			10,959	12,033
熱回収量			0	0
減少量			0	0
再生利用以外の量			0	0
廃棄処理量			142	112
食品再生利用等実施率		%	99.0	99.3
同上基準実施率		%	98.4	98.4
総排水量		(千) m ³	4,438	4,255

※二酸化炭素排出係数 0.408 kg - CO₂/kWh

※今回は各工場共通で、R4. 環境省・経済産業省公表の代替値を使用

環境経営目標及びその実績

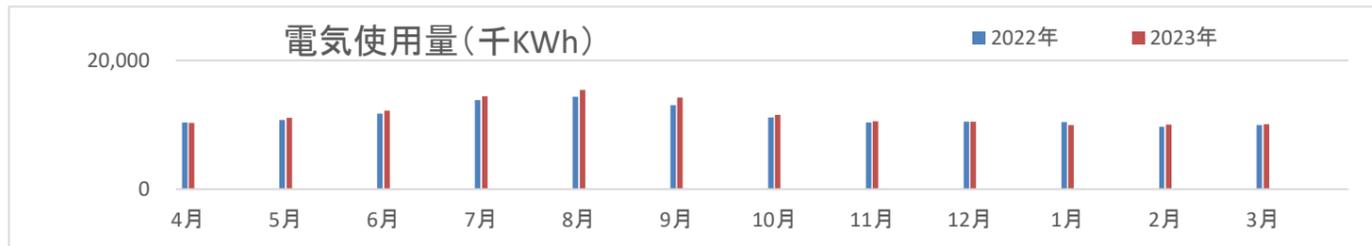
※原単位を管理項目とする

※原単位は売上÷排出数量にて算出

項目	年度	2022年 (基準値)	2023年		評価		2023年 (実績)	2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)					
電力使用量 (CO ₂ 間換算)	t-CO ₂	51,206	50,694	57,203	×	×	総量 57,203	56,631	56,059
	基準年度比	2022年	99%	111.7%			原単位 0.352	0.349	0.345
							実績年度比	99%	98%
燃料使用量 (都市ガス・LPG・LNG・重油) CO ₂ 換算	t-CO ₂	45,662	45,205	46,195	×	×	総量 46,195	45,733	45,271
	基準年度比	2022年	99%	101.2%			原単位 0.285	0.282	0.279
							実績年度比	99%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	t-CO ₂	96,868	95,899	103,398			上記合計 0.637	0.630	0.624
水使用量	千m ³	4,438	4,394	4,255	○	○	総量 4,255	4,212	4,170
	基準年度比	2022年	99%	95.9%			原単位 0.026	0.026	0.026
							実績年度比	99%	98%
一般廃棄物廃棄量	t	961	951	1,123	×	×	総量 1,123	1,112	1,101
	基準年度比	2022年	99%	116.9%			原単位 0.007	0.007	0.007
							実績年度比	99%	98%
廃プラ廃棄量	t	8,146	8,065	7,804	○	○	総量 7,804	7,726	7,648
	基準年度比	2022年	99%	95.8%			原単位 0.048	0.048	0.047
							実績年度比	99%	98%
動植物性残渣廃棄量	t	11,958	11,838	11,539	○	○	総量 11,539	11,424	11,308
	基準年度比	2022年	99%	96.5%			原単位 0.071	0.070	0.070
							実績年度比	99%	98%
食品廃棄物の再資源化率の向上	%	99%	99%	99%	○	////	99%	99%	
化学物質の適正管理	(適正・安全な運用に取り組めます)								
環境に配慮した生産活動	(良品製造・作業行程効率化にて環境への配慮を図ります)								

環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の計画

電力使用量削減の取組み		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	〈今期取組内容〉 ・太陽光発電の設置（デザート） ・室外機遮熱塗装（吉川） ・朝礼や掲示物による啓蒙活動の強化 〈課題・来期での検討内容〉 ・製造の構成にてチルド化が多くなり、生産数減でも電気使用量が増えているので、より対策や取組みが必要 ・今期取組の継続（太陽光・遮熱塗装等）
取組内容	太陽光発電の設置及び稼働	○	
	室外機遮熱塗装による節電	○	
	朝礼や掲示物による節電への喚起	○	



電力使用量 (千kWh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	10,356	10,738	11,764	13,867	14,387	13,061	11,145	10,324	10,463	10,425	9,668	9,989
2023年	10,293	11,085	12,181	14,430	15,423	14,199	11,528	10,547	10,456	9,970	10,004	10,087

取組み事例

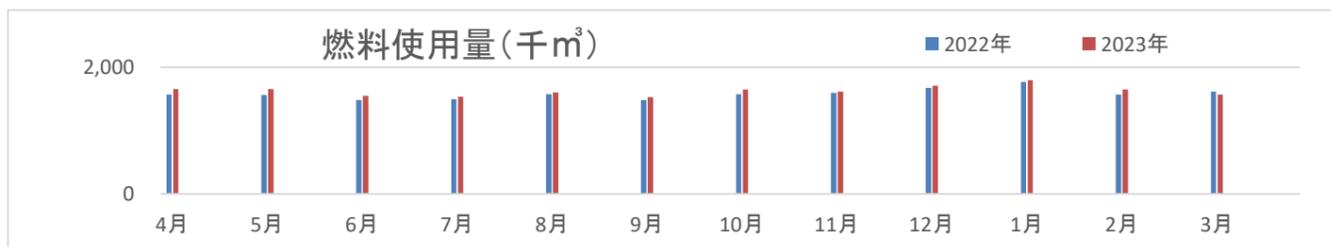
太陽光発電



遮熱塗装



燃料（都市ガス・LPG・LNG・A重油）使用量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	〈今期取組内容〉 ・現場でのエアリーク検査などをおこない小さな正ではあるが、少しでも無駄をなくすように取組みをおこなった（東京・村山第二） 〈課題・来期での検討内容〉 ・アイテム構成等もあるが、依然無駄に使用していることが多く、朝礼等での伝達・指導が必要
取組内容	エアリーク検査機器での検査（蒸気等）	○	
	蒸気配管へ保温用ジャケット装着	○	



燃料使用量 (千m³)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	1,569	1,561	1,479	1,496	1,573	1,485	1,574	1,596	1,674	1,770	1,569	1,613
2023年	1,653	1,657	1,552	1,539	1,605	1,532	1,646	1,617	1,709	1,795	1,647	1,570

取組み事例

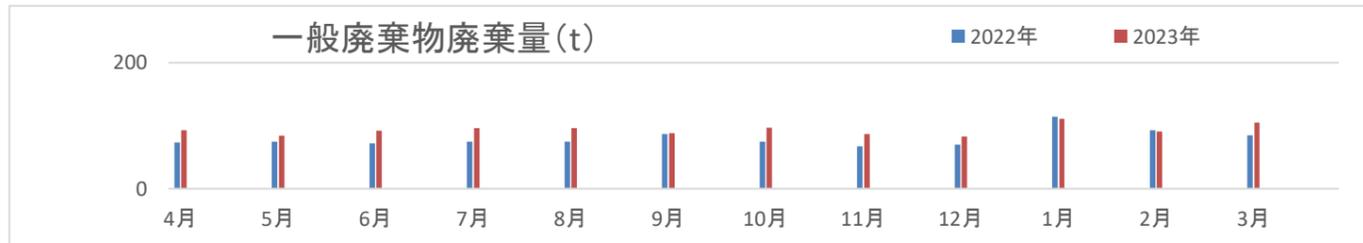
エコジャケット



エアリーク



一般廃棄物排出量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	<今期取組内容> ・「マイコップ」の使用の呼び掛けを継続しておこなう ・過剰な紙の使用を控える <課題・来期での検討内容> ・コロナ禍が過ぎ、出社人数が戻りつつある関係もあり、コピーの使用などが増えたことにより、結果排出量が増加 ・新たな掲示物や伝達をおこなう必要があるので要検討
取組内容	マイコップ使用推奨	○	
	コピー用紙使用抑制	△	



一般廃棄物廃棄量 (t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	73	75	72	75	75	87	75	67	70	114	93	85
2023年	93	84	92	96	96	88	97	87	83	111	91	105

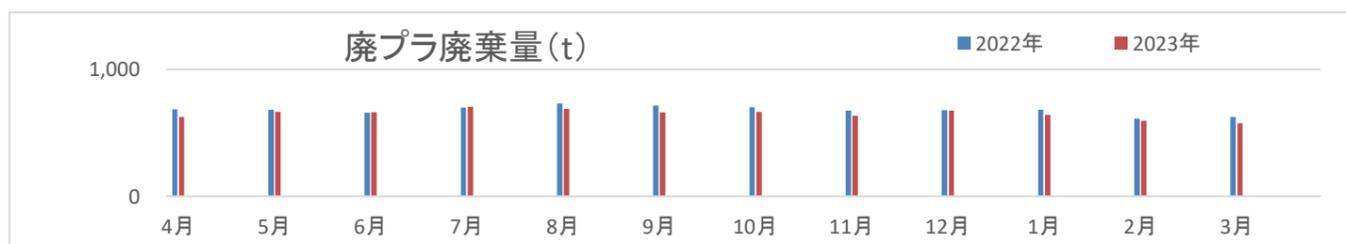
取り組み事例



給茶機での紙コップの使用削減の継続
(本社)



廃プラ廃棄量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	<今期取組内容> ・工場で使用するシートなどの使用量について、無駄がないように、朝礼や掲示物で伝える取組の継続 ・ライナーレスなど、使用するプラスチックの使用量を減らすように取組 <課題・来期での検討内容> ・減容機の検討の継続
取組内容	作業ミスによる廃棄量の削減	○	
	廃プラ減容機器の導入検討	○	
	ライナーレスラベルなどの導入	○	

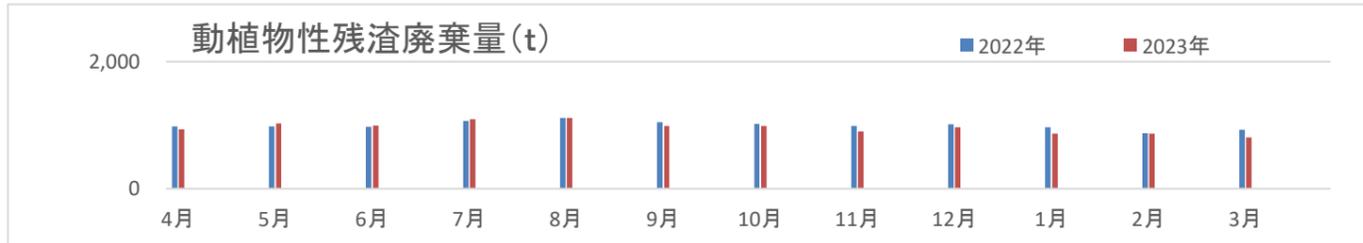


廃プラ廃棄量 (t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	687	683	660	699	731	715	704	676	678	682	613	624
2023年	626	665	664	705	690	663	667	635	677	641	595	576



動植物性残渣廃棄量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	〈今期取組内容〉 ・生産数が増えたこと、商品構成にて廃棄が増えている ・減容機を導入し、効果が得られているので水平展開していく（岩手）
取組内容	ゴミ減容機器の導入	○	
	製造ロスの削減	○	〈課題・来期での検討内容〉 ・減容機の水平展開



動植物性残渣廃棄量 (t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	982	983	971	1,067	1,113	1,048	1,022	989	1,014	966	873	930
2023年	934	1,028	994	1,094	1,111	990	984	900	964	866	866	808

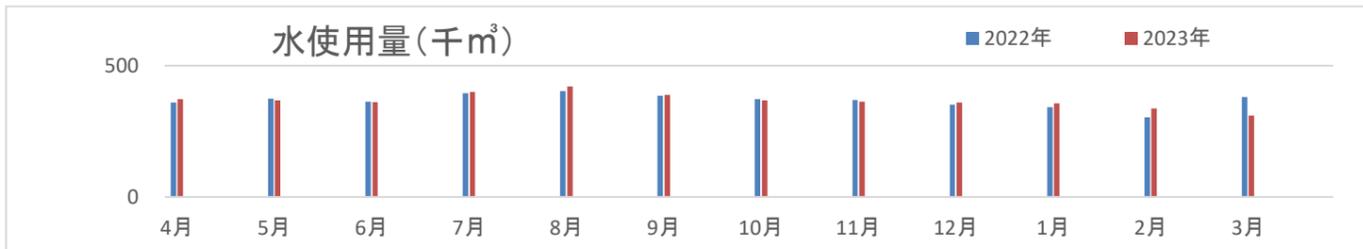
取組み事例



減容機



水使用量の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	〈今期取組内容〉 ・昨年度同様の取組の継続 ・節水ノズルの情報共有などをおこない、設置できる工場では随時交換をおこなっている
取組内容	節水部品導入	○	
	水圧を調整して水量の適正利用を促す	○	〈課題・来期での検討内容〉 ・取組みの継続 ・設置できない工場での対策について要検討
朝礼や掲示物による節水の喚起	○		



水使用量 (千m³)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	359	374	363	395	403	386	372	369	352	342	303	381
2023年	373	367	361	400	421	388	368	363	360	357	337	309

取組み事例



節水ノズル



化学物質の適正管理（使用量・保管）			取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組内容	適正使用の順守	○	〈今期取組内容〉 ・昨年同様、環境に配慮した薬品への代替の検討の継続 ・適正、安全な使用についての指導教育の継続
	代替品の検討	○	
	取扱いについての指導や教育	○	〈課題・来期での検討内容〉 ・今年度同様、取組の継続



環境に配慮した製品・サービスへの取組み			取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組内容	製造ミス減による廃棄量の削減	○	〈今期取組内容〉 ・製造で使用する製品ラベルのライナーレス化にて、廃プラ削減への取組みをおこなっている
	歩留まり向上や余剰生産の削減	○	
	容器包装のプラスチック削減	○	〈課題・来期での検討内容〉 ・容器包材の材質変更の検討（他の方法にて検討をおこなう） ・社内だけでなく、納品業者など外部とも協力して取組をおこなう



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

関連する法規・確認事項

環境関連法規名	確認事項
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集・運搬（契約書・許可証の記載漏れ、保管状況等）
	産業廃棄物の収集・運搬、処分（契約書・許可証の記載漏れ、保管状況等）
	看板の設置（設置状況、記載内容、連絡先明記等）
	マニフェスト伝票の記載漏れ、保管状況
	処分場の現地確認（社内ルールとして、本社・全工場にて年1回実施）
プラスチック資源循環法	排出の抑制、再資源化等の目標設定、計画的な実施の義務について対応
食品リサイクル法	（平成19年度を基準値とする）再資源化率の目標達成の確認
	定期報告書の作成、提出（まとめ・提出は本社）
公害防止組織法	排水量 1,000m ³ /日 以上ある場合の届出
	水質関係第4種公害防止管理者の資格者の選任、届出
騒音規制法	ブロワー、圧縮機、送風機等の設置届出
振動規制法	ブロワー、圧縮機、送風機等の設置届出
下水道法	使用開始届
	除害施設設置届出
水質汚濁防止法	特定施設設置届出
	排水水質濃度測定記録
浄化槽法	11条検査確認の実施・記録
	排水水質濃度測定記録
大気汚染防止法	(50ℓ以上/h) ボイラーの設置届出
	煤煙測定記録
悪臭防止法	規制地域対象の確認（対象の場合、測定・把握をおこなっていく）
省エネルギー法 (エネルギーの使用の合理化等に関する法律)	エネルギー管理士・員の選任、届出
	エネルギー管理標準の作成・更新
	中長期計画書・定期報告書作成・提出・保管
温暖化対策推進法	対策計画書の作成・提出・保管
	実績報告書の作成・提出・保管
フロン排出抑制法	点検、点検表・整備記録の保管（有資格者による定期点検）
	点検、点検表・整備記録の保管（自主または委託にての簡易点検）
	(修理時) フロン類引取、回収証明書、(廃棄時) 回収依頼書、引取証明書
	算定漏洩量の報告（まとめ・報告は本社）
毒劇法	該当薬品の保管場所での管理・施錠、SDSの保管
化管法	PRTR該当薬品の保管場所での管理・施錠、SDSの保管
消防法	消防設備点検表
	指定数量以上の危険物を保管する場合の届出・許可（指定数量以上）
	各届出（消防設備設置届出書・火を使用する設備等設置届出・防火管理者選任届出等）
	消防計画の作成・避難訓練の実施、記録（年1回以上）
工業用水法	井戸使用許可申請書（地盤沈下防止対策として使用）
工場立地法	工場新設届・変更届（敷地面積9,000m ² 以上、または建築面積の合計3,000m ² 以上）

本社・各工場確認結果

環境関係法規名	工場名																								
	本社	東京	村山第二	横浜	相模原	デザート	大宮	吉川	浦和	千葉	札幌	釧路	岩手	福島	群馬	茨城	南アルプス	上田	北陸	名古屋	滋賀	堺	三木	香川	
廃棄物処理法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プラスチック資源循環法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
食品リサイクル法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公害防止組織法	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
騒音規制法	○	○	—	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○
振動規制法	—	○	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○
下水道法	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	
水質汚濁防止法	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	
浄化槽法	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	
大気汚染防止法	—	○	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	
悪臭防止法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
省エネルギー法 (エネルギーの使用の合理化等に関する法律)	○	○	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
温暖化対策推進法	○	○	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フロン排出抑制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
毒劇法	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	
化管法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
消防法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工業用水法	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
工場立地法	—	○	—	—	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：遵守されている
—：該当しない

各工場の環境関連法規等の遵守状況評価を確認した結果、環境関連法規等は遵守されていました。
食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。
過去3年間にわたって、違反・訴訟等もありませんでした。

これまでの環境活動の紹介

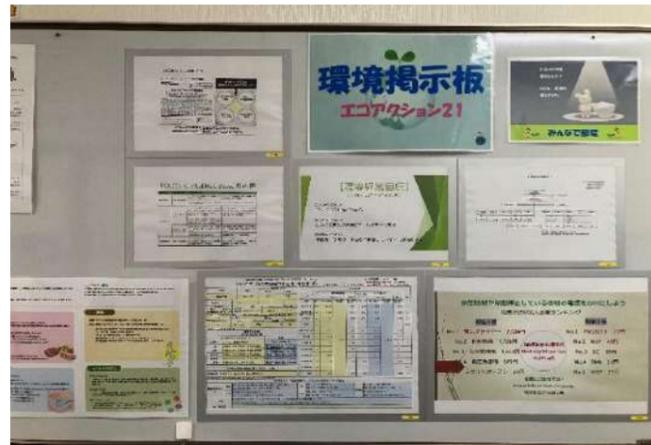
・ 内部環境監査の実施

本社・全工場にて内部環境監査を実施し、現場での問題箇所の指摘・法令関係の書類の確認をおこない、是正していきました。
また、問題箇所を挙げるだけでなく、良かった点なども各工場に水平展開しています。



・ エコアクション21活動の取り組みの掲示物

弊社独自のEMS（環境マネジメントシステム）を作成し、本社・全工場にて展開し、それぞれ取り組み目標を定め活動しています。社員・パートナーの目に留まる場所に掲示をおこない、見るだけでなく朝礼にて呼掛けをおこない、内容を理解してもらうように努めています。



・ 掲示物にて呼掛け

「節水」・「節電」等環境に関する掲示物を貼り出し、使用する方への呼掛け、意識向上に努めています。
工場ごとの掲示物の掲示なので、次年度から「統一」した掲示物の掲示をおこない、社全体での取り組みとしての意識を高めるように取り組みます。



社会貢献活動への取組み



①



②

- ①工場及び工場周辺の清掃活動をおこない、地域の環境美化に貢献するように取り組んでいます。
- ②工場でペットボトルのキャップ分別回収をおこない、ワクチン製造費用にあてる支援団体へ提供しています。



③



④

- ③東京都・神奈川県・埼玉県の当社工場周辺に所在する特別支援学校51校に、図書の寄贈をおこなっています。
- ④当社グループの網状が立地する地域を中心に、各地域の実情やニーズに合わせて支援活動のサポートをしています。
(例：東京工場（東京都武蔵村山市）では、武蔵村山市男女共同参画センターが主催する「シングルマザー応援フェスタ」にて、参加された家庭に当社グループ事業に関連するお米を提供しています)

代表者による全体の評価と見直し・指示

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月1日

物価・資源エネルギーの高騰といった、非常に苦しい一年となりました。
当然、当社も昨年同様影響を大きく受け、昨年以上に「節電」「省エネ」の
取組みの重要性が増した一年だと感じました。
引続き激動する時代の中において、「環境への意識・行動」の重要性が増していきますので、
取組みの一環としておこなっている「エコアクション21」の大切さを再認識し、
今後も継続した取組みをおこない、社員・パートナー全員で意識を高め、
より一層の成果を得られるように取組んで参ります。

代表取締役社長
棚本 実

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり



本社